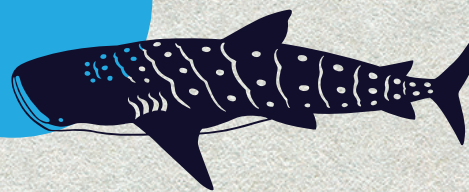


海ごみ問題から考える 私たちの暮らしと プラスチック



太平洋をはじめ、世界の海をおおう海ごみ問題は、地球環境問題の1つとして、近年注目されています。とても大きな問題ですが、その「もと」は私たちの暮らしから出たごみ。

特にプラスチックごみの汚染は深刻です。「いずれ、世界の海は、魚よりプラスチックごみの方が多くなる」という予測まであります。海ごみ問題と私たちの暮らしのつながりを知り、私たち1人ひとりに何ができるか考えましょう。

第1回

2017. **12/9** (土) 13:30~16:00

漂着ごみと川ごみから見たペットボトル ～各地の調査からみたりサイクルの限界～

会場 パタゴニア京都店3F イベントスペース 定員 40名

講師 伊藤浩子氏 全国川ごみネットワーク、原田禎夫氏 大阪商業大学准教授

第2回

2018. **1/28** (日) 13:30~16:00

海ごみ問題と私たちの暮らし ～実態が明らかになってきた海ごみ問題～

会場 パタゴニア京都店3F イベントスペース 定員 40名

講師 高田秀重氏 東京農工大学教授、篠健司 パタゴニア日本支社環境・社会担当

第3回

2018. **3/3** (土) 13:30~16:00

脱使い捨て、脱プラスチックに向かう世界 ～フランスの「プラスチック製使い捨て容器・食器禁止法」の衝撃～

会場 京エコロジーセンター1F シアター 定員 60名

講師 山川肇氏 京都府立大学教授、太田航平氏 NPO 法人地域デザイン研究所 ecotone 代表

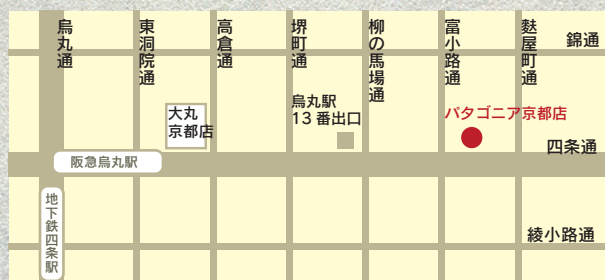
map

第1回、第2回会場

パタゴニア京都店

京都市下京区四条通富小路東

阪急京都線 烏丸駅、市営地下鉄烏丸線 四条駅 13番出口より東へ徒歩3

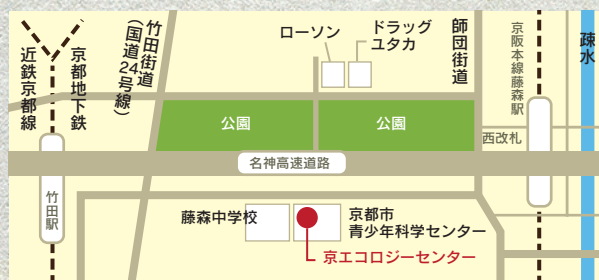


第3回会場

京エコロジーセンター

京都市伏見区深草池ノ内町13

京阪藤森駅：西改札から7分 地下鉄・近鉄竹田駅：東口から13分



(共催) 京都市ごみ減量推進会議

patagonia (後援)

関西広域連合／京都府／京都市

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ

講師プロフィール

第1回



伊藤 浩子氏 全国川ごみネットワーク 事務局

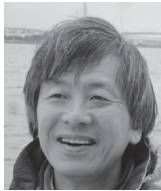
東京の荒川をメインフィールドに、多くの市民や企業を巻き込んだ河川清掃をつづけ、川ごみの実態をわかりやすく発信しつづけた。全国の団体との連携もすすめ、その成果は 2015 年に全国川ごみネットワークとして結実。元 NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム事務局長。



原田 禎夫氏 大阪商業大学 公共経営学科 准教授 NPO 法人プロジェクト保津川代表理事

大学では河川の環境や水運文化を研究するかたわら、NPO 法人プロジェクト保津川を立ちあげ、保津川で毎月清掃活動を行う。半世紀前に途絶えた、保津川の筏流しの復活プロジェクトなど、保津川の環境や歴史・文化を守り、受けつづ取り組みを進めている。海外のリサイクルシステムの調査にも熱心に取り組んでいる。自他共にみとめる川バカ！

第2回



高田 秀重氏 東京農工大学 環境資源科学科 教授

研究分野は、環境汚染解析分野。プラスチック汚染研究のエキスパート。人間が排出した陸上の物質が海にどのように運ばれているのか、特にプラスチックによる汚染に注目し、20 年近く調べている。2015 年 7 月「海洋立国推進功労者賞（総理大臣賞）」受賞。同年 10 月には、NHK クローズアップ現代に出演し、マイクロプラスチックの海洋汚染の実態について報告した。



篠 健司 パタゴニア日本支社／ブランド・レスポンスビリティ・マネージャー

1988 年、パタゴニア日本支社に入社。2004 年から環境担当として助成金プログラム等を通じた環境団体の支援、製品リサイクル等の環境プログラムを構築。2016 年より現職となり企業の環境社会責任の追求、環境フットプリントの削減を担当。1% FOR THE PLANET 日本窓口を兼務し、社外ではコンサベーション・アライアンス・ジャパン監事、公益社団法人日本自然保護協会理事。

第3回



山川 肇氏 京都府立大学 生命環境科学研究科 教授

研究テーマは循環型社会論。2R（リデュース・リユース）の促進をめざして研究している。ごみ減量のための政策や行動の評価、効率性改善の手法開発や、環境に配慮した買い物行動（グリーンコンシューマー）などの規定因分析とその分析など、多様な視点から研究を行っている。わかりやすい話から、全国の市民団体に招かれ講演している。



太田 航平氏 NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事 （一社）祇園祭ごみゼロ大作戦理事長

「祭りの後を幸せに」をキーワードに、イベントごみの削減を目指して「リユース食器」の貸し出し・洗浄サービスシステムを発案。全国に広がるリユース食器システムの先駆けをつくる。その成果は「祇園祭ごみゼロ大作戦」に発展し、さらに大阪の天神祭にも広がろうとしている。2006 年「人間力大賞受賞（一般社団法人日本青年会議所主催）」

パタゴニア とは？

1973 年設立のアメリカのアウトドア用品メーカー。企業理念に「最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。」を掲げ、市民による環境保全活動の支援にも取り組んでいる。日本支社は 1988 年に鎌倉市に設立（現在は横浜市戸塚区）。

京都市ごみ減量推進会議 とは？

京都市ごみ減量推進会議（ごみ減）は、ごみを減らし、環境を大切にしたいまちと暮らしの実現を目的として、市民・事業者・行政によって、平成 8 年（1996 年）に設立された団体です。現在おもに京都市内の市民・事業者など 500 を越える団体が集い、活動しています



海ごみ問題から考える私たちの暮らしとプラスチック

参加申込書

申込み
問合せ



京都市ごみ減量推進会議

郵送、ファックス、または同内容にて E メールでご送付ください。ウェブサイトからも申し込みできます。

<http://kyoto-gomigen.jp/works/....html>

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 13

京エコロジーセンター活動支援室内「京都市ごみ減量推進会議」宛

TEL 075-647-3444 FAX 075-641-2971

E-mail sanka@kyoto-gomigen.jp

URL <http://kyoto-gomigen.jp>

ふりがな			
お名前	電話番号		
	E-mail (あれば)		
今後、ごみ減量推進会議からのメール案内を希望しますか？ ☐ 希望する ☐ 希望しない 希望しないとされた方の個人情報は本件の連絡にのみ使用します			
参加会	☐ 第 1 回 12/9 (締切 12/6) ☐ 第 2 回 1/28 (締切 1/26) ☐ 第 3 回 3/3 (締切 2/28)		